

業務の新聞

第68号

2020年 12月 28日

申1号 提出！

12月21日、東京支社に対して「東京地本申1号」を提出しました。

「申1号」は、12月12日に開催した第9回地本大会での組合員の声を基にした内容で構成しました。

会社に対する疑問や仕事に対する問題点は私たちが日々仕事を担う“職場”で発生します。職場の問題、は私たちの業務と生活に直結します、問題の放置は波状的に職場の荒廃に繋がっていきます。

より良い職場とより良い会社を創造するために、具体的な会社回答を得るために皆さんの知恵とチカラを活かして取り組みを進めます。協力をお願いします。

3月ダイヤ改正

3月13日ダイヤ改正が予定されています。すでにマスコミでは「終電時間の繰り上げ」「夜間作業時間の確保」などが報じられています。

支社の労働組合への提案は、1月7日に予定されています。

運転職場では、すでにダイヤ改正プロジェクトは設置されて活動しているようです。残念ながら“プロジェクト”に任命されなかった多くの社員は自分の職場・仕事がどうなるか知ることが出来ません。

この間、社員との意見交換やヒヤリングの実施を行うように会社に対して問題提起してきましたが残念ながら、“実施”には至ってしません。

しっかりと考えて取り組みましょう！

シッカリ対応を！

大江戸線の乗務員が新型コロナウイルス感染し多くの濃厚接触者は確認され、大江戸線は7割程度の運行になっています。

連日、東京における新型コロナウイルス感染は“過去最高”を残念ながら更新しています。東京は、いつだれが感染してもおかしくない状態になっているのです。

私たちは、「新型コロナウイルス感染予防」を職場・家庭で愚直に実践していかなければなりません。会社には、この会社を支えるエルダー社員・グループ会社社員への感染予防に必要なマスクをはじめとした“物資”的供給を滞りなく行うことを求めていきます。

誰もが安心して働く会社をつくりましょう！

「過ぎる」くらいで

「新型コロナウイルス感染予防」を実践し始めてすでに10か月が経過しています。

報道は、「慣れた」と報じられる場面もありました。いま一度「感染しない」「感染させない」をシッカリと考え行動していきましょう。

先に『マスクがありません！』とこの紙面で取り上げました。現在においてもJR東日本社員と一部のグループ会社社員のみにしか勤務ごとにマスクは配布されていません。文字通り“否定的現状”です。

「過ぎる」くらいの対策として具体的な対応をJR東日本と東京支社に声を大にして求めていきます。

不安と問題を抱えたままでは安全も安定もサービスもお客様に“十分”に提供することは出来ません。否定的現状を職場から打破しましょう！